

# 令和7年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

社会福祉法人マハヤナ学園

マハヤナ第二保育園

## 1. 活動のテーマ

「絵本の世界を共有しよう」

＜テーマの設定理由＞

園で過ごす時間や空間の中で、子どもたちは絵本を通してその世界観に入り込んだり、想像力をふくらませ、自分の世界だけでなく他者ともその世界観を共有したり、関心を広げて行く姿がある。

その子どもの興味や関心に応じて遊びが展開できるよう、絵本コーナーなどの空間や新たな絵本環境を通じて、はじめ、より深く絵本に親しんでもらいたい。絵本から得られる知識や絵本の世界観を体験し想像力豊かに育ってもらいたいと考えた。

## 2. 活動スケジュール

R7年4月～R8年3月（年間と通じて）

- ・ 絵本コーナーの環境づくり（絵本棚の設置、椅子づくり）
- ・ 読み聞かせや劇ごっこを通して他年齢同士が絵本の世界を共有する。
- ・ その他、子ども達の興味関心に応じて絵本の補充、展開を行う。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 絵本の扱いをしやすいように絵本棚の充実や、手作り椅子を作製し子どもたちと一緒に心地よい空間を作りを考えていく。
- ・ 子どもがイメージをふくらませたり、劇遊びに発展させられるような絵本を職員も選書し、また子どもたちの興味関心に合わせて読み聞かせたり、年上の子が年下の子に選んだ本を読んでもらったり紹介する。

## 4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

- ・ 各フロアごとの絵本コーナーで、自分の好きな本を選んで読んだり、友だちに読んだり、紹介する機会、時間を設定していく。5歳児を中心に絵本を読む用に製作した椅子を、他のクラスの子どもたちも活用し、一人で読んだり、一緒に読んだり、また0、1歳児に読みか聞かせする姿等絵本コーナーを活用した共有時間

が増えていった。また卒園お祝い会で、4歳児が「おおきなかぶ」の絵本から劇ごっこを全園児に発表する姿も見られた。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

- ・ 衣装や小道具が製作しやすいように製作コーナーを充実させたことで、自分のイメージしたことを劇や表現遊びで楽しみ、必要なものをそれぞれが作っていた。「本物のトラみたい!」「これ着て演じたらいいね」など、自分の意見を伝え、友達の意見を取り入れながら工夫して取り組んでいた。
- ・ パーテーションを利用して舞台を準備すると、絵本の中の遊びをごっこ遊びの中で発展させるなどして遊びが広がっていた。製作する中で次々にアイデアがふくらみ、「ペープサートやってみたい」「体が隠れるくらいの高い台が欲しい」など、イメージが実現するための工夫をそれぞれ考え出していた。



## 5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

絵本コーナーから、その環境をより充実したものに改善し、子どもたちの好きな絵本の世界を一緒に見守ってきた。コーナーの内容を充実させることで、子どもの発想や会話にやりとりなどの着目し、保育士自身も多くの気づきにつながり、異年齢でのかわりなども増えていき活動も広がった。

今後も、子ども達の興味関心に応じた環境を充実させながら活動を展開できるようにコーナー遊びの充実を図っていく。職員自身もさらに絵本の読み聞かせの意義や、コーナー環境の工夫につながって行くように展開していきたい。